

令和5年度養殖衛生管理技術者養成 本科基礎コース研修開催要領

1. 目的

国内防疫を担う都道府県職員や漁業協同組合の職員、獣医師等を対象に、養殖現場の指導を行うことのできる養殖衛生管理技術者を養成する。また、養殖衛生管理対策等に協力する者に対し、必要な知識、技術の講義を実施し、技術者の養成および層の拡大を図ることを目的とする。

2. 開催日時・場所

①対面

令和5年7月3日（月）11：00～7月14日（金）16：15

公益社団法人 日本水産資源保護協会 研修室※

（〒104-0044 東京都中央区明石町 1-1 東和明石ビル 3F）

※参加人数により、都内別場所に変更となる可能性があります。

②オンライン（Microsoft Teams を使用）

令和5年7月3日（月）11：00～7月14日（金）16：15（対面と同時期）

③オンデマンド（原則として、選択コースならびに獣医師向けに開講）

基礎コースの全日程が終了後に配信開始する。各講義の動画を動画共有サイトにおいて公開する。講義動画の URL は協会担当者より受講者宛に連絡する。

3. 科目・講師および時間割

別表のとおり。

なお、魚病学総論、持続的養殖生産確保法、医薬品医療機器等法、食品衛生法のみを受講も可とするが、今後、本科実習コースを受講を希望する者は本科基礎コース研修の全科目を受講すること。

4. 受講資格

現在の国内防疫を担う都道府県職員や漁業協同組合の職員などの地方公共団体等が推薦する者、養殖業関係団体等が推薦する者、または獣医師であって、養殖衛生管理対策等に協力する者。

5. 受講申請

受講希望者は、受講申請書（別添様式）に所定の事項を記入し、地方公共団体等※の場合は申請者（機関の代表者）が、その他の場合は養殖業関係団体等の推薦を受け、公益社団法人日本水産資源保護協会事務局長あて、令和5年6月23日（金）までに必着するように送付（メールでの提出も可）すること。

※地方公共団体等には、地方独立行政法人、市町村、漁業協同組合連合会、漁業協同組合および都道府県或いは市町村の栽培漁業協会等の職員を含む。管轄の都道府県を經由して受講申請書を提出すること。

提出先

(郵送の場合) 〒104-0044 東京都中央区明石町 1-1 東和明石ビル 5 階

(公社) 日本水産資源保護協会 事業部 北村 宛

(メールの場合) fdc@fish-jfrca.jp

(問い合わせ) 03-6680-4277 担当：北村

6. 受講決定通知

受講者は、受講申請書に基づき決定し、本人および申請者、推薦者あて通知する。

7. 受講方法

①対面・オンライン

開催期間中に対面もしくはオンラインで受講する。受講者は協会担当者より毎日出席確認を行う。

※原則、当該コースの全ての科目の受講を対面もしくはオンラインで受講した者を本科基礎コース研修の修了と認める。

②オンデマンド（原則として、選択コースならびに獣医師向けに開講）

申請書に必ず Gmail アドレスを記入する。協会担当者より講義動画の URL を連絡するので期間中に動画の視聴を行い、監督責任者の確認を受け、確認表にチェックする。全講義の視聴が終了後、確認表を協会担当者へ提出する。

8. 教科書

各講義において、資料を配布する。オンライン、オンデマンドの受講者にはメールで送付する。

(参考図書)

『魚介類の感染症・寄生虫病』監修 江草周三、編集 若林久嗣・室賀清邦（恒星社厚生閣）

9. その他

各科目の詳細については、別添のシラバス『養殖衛生管理技術者成研修「本科コース」講義内容』を参考のこと。シラバスは6月16日以降に（公社）日本水産資源保護協会のホームページ（URL：<https://www.fish-jfrca.jp/05/boueki.html>）に掲載するので、そちらを参照すること。

令和5年度養殖衛生管理技術者養成本科 基礎コース研修 科目および講師

科 目	時間	氏 名	所 属	
魚病学総論	3	佐野 元彦	国立大学法人東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科	
細菌病	8	吉田 照豊	国立大学法人宮崎大学農学部	
	6	泉 庄太郎	学校法人東海大学海洋学部	
ウイルス病	5	佐野 元彦	国立大学法人東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科	
	5	笠井 久会	国立大学法人北海道大学大学院水産科学研究所	
寄生虫病	6	小川 和夫	公益財団法人 目黒寄生虫館	
	2	良永 知義	国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科	
	2	横山 博	学校法人加計学園岡山理科大学獣医学部獣医学科	
真菌病	6	倉田 修	学校法人日本医科大学日本獣医生命科学大学	
養殖漁場環境論	2	中西 敬	学校法人近畿大学農学部水産学科(非常勤)	
免疫学	2	中西 照幸	株式会社ゴトー養殖研究所	
食品衛生法	1	塚本 絢己	厚生労働省医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全部	食品基準審査課
		青木 大輔		食品監視安全課
薬事法	1	高橋 延之	農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課水産安全室	
持続的養殖生産確保法	1	冨澤 輝樹	農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課水産安全室	
水産動物学 ^{※1}	2	間野 伸宏	学校法人日本大学生物資源科学部海洋生物学科	
合計時間数	52			

(敬称略)

※1 水産動物学の受講は任意。

令和5年度養殖衛生管理技術者養成本科基礎コース研修 時間割

時 限 月 日	1	2	3	4	5	6
	10:00～ 11:00	11:00～ 12:00	13:00～ 14:00	14:00～ 15:00	15:15～ 16:15	16:15～ 17:15
7月3日(月)		魚病学総論 (佐野)	魚病学総論 (佐野)		寄生虫病 (横山)	
4日(火)		ウイルス病 (笠井 (WEB))	ウイルス病 (笠井(WEB))		ウイルス病 (笠井(WEB))	
5日(水)	水産動物学※ ¹ (間野)			食品衛生法 (基準審査 課 塚本・ 監視安全課 青木)	薬事法 (高橋)	持続的養殖 生産確保法 (冨澤)
6日(木)	細菌病 (泉)		細菌病 (泉)		細菌病 (泉)	
7日(金)	免疫学 (中西(照))		養殖漁場環境論 (中西(敬))			
7月10日(月)	真菌病 (倉田)		真菌病 (倉田)		真菌病 (倉田)	
11日(火)	細菌病 (吉田)		細菌病 (吉田)		細菌病 (吉田)	
12日(水)	細菌病 (吉田)		寄生虫病 (良永)			
13日(木)	寄生虫病 (小川)		寄生虫病 (小川)		寄生虫病 (小川)	
14日(金)	ウイルス病 (佐野)		ウイルス病 (佐野)		ウイルス病 (佐野)	

(敬称略)

※選択コース研修(基礎)は基礎コース科目を選択して受講する